

本年もよろしくお祈りします。
この「労務協会からのお知らせ」も、早いもので 3 年目に入りました。

労務協会からのお知らせ

★ 「社会人基礎力」 って知っていますか？

「社会人基礎力」とは、「組織や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力」のことです。

経済産業省において人材の確保・育成の観点から、職場等で求められる能力の明確化、育成・評価について、平成 17 年 7 月から研究会が開催され検討されています。

ビジネス環境が成熟化・IT化する中で、職場等で求められる能力は、基礎学力や専門知識に加え、以前と比べさらなるコミュニケーション能力（特に多様な人々との「チームワーク」により新しい価値を創造する際に必要な能力として）や実行力、積極性などが必要とされます。

研究会の「中間取りまとめ報告書」がインターネットで公開されていますので、詳しく知りたい方はご覧ください⇒<http://www.meti.go.jp/press/20060208001/20060208001.html>

企業において、「将来に向け自社で活躍するであろう人材」を採用する際の基準作りや、教育・育成の方向性を考えるにあたって、また、ご子息を立派な社会人に育てるために？ご参考になるのではないかと思います。ここでは報告書の中で、「社会人基礎力の能力要素」をまとめたものがありましたので、載せてみました。

(社会人基礎力の能力要素)

分類	能力要素	内容
前に踏み出す力 (アクション)	主体性	物事に進んで取り組む力 例) 指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組む。
	働きかけ力	他人に働きかけ巻き込む力 例) 「やろうじゃないか」と呼びかけ、目的に向かって周囲の人々を動かしていく。
	実行力	目的を設定し確実に行動する力 例) 言われたことをやるだけでなく自ら目標を設定し、失敗を恐れず行動に移し、粘り強く取り組む。
考え抜く力 (シンキング)	課題発見力	現状を分析し目的や課題を明らかにする力 例) 目標に向かって、自ら「ここに問題があり、解決が必要だ」と提案する。
	計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力 例) 課題の解決に向けた複数のプロセスを明確にし「その中で最善のものは何か」を検討し、それに向けた準備をする。
	創造力	新しい価値を生み出す力 例) 既存の発想にとらわれず、課題に対して新しい解決方法を考える。
チームで働く力 (チームワーク)	発信力	自分の意見をわかりやすく伝える力 例) 自分の意見をわかりやすく整理した上で、相手に理解してもらうように的確に伝える。
	傾聴力	相手の意見を丁寧に聴く力 例) 相手の話しやすい環境をつくり、適切なタイミングで質問するなど相手の意見を引き出す。
	柔軟性	意見の違いや立場の違いを理解する力 例) 自分のルールややり方に固執するのではなく、相手の意見や立場を尊重し理解する。
	状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力 例) チームで仕事をするとき、自分がどのような役割を果たすべきかを理解する。
	規律性	社会のルールや人との約束を守る力 例) 状況に応じて、社会のルールに則って自らの発言や行動を適切に律する。
	ストレスコントロール力	ストレスの発生源に対応する力 例) ストレスを感じるがあっても、成長の機会だとポジティブに捉えて肩の力を抜いて対応する。

中小企業においては、これらの能力要素の中で、特に「業績と関連性が高いもの」について絞り込んで注目してはいかがでしょうか？

(編集後記) 業務の効率化の必要性もあり、「業務のビジュアル化」に取り組み始めました。具体的には、今している業務を記録・整理し、紙に「ビジュアル化」して(ここが大事)、問題点を検討しています。いままでは、「面倒」だからと怠っていましたが、やってみると無駄やあいまいさに気がつきます。最短距離で、しかも「ツボ」を押さえた仕事に改善できそうです。もっと早く取り組みればよかった!？ (一ノ宮 俊人)